

**東北地方太平洋沖地震をふまえた  
柏崎刈羽原子力発電所の津波対策の検討状況について**

平成 23 年 3 月 30 日  
東京電力株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

当所は、本年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による当社福島第一、福島第二原子力発電所における被害の状況をふまえ、当所における津波対策を検討してまいりました。

当所では、東北地方太平洋沖地震後ただちに、重要な機器が設置されている建屋の防水性をさらに高めるための改善策を講じてまいりましたが、現在想定している津波を超える津波への安全対策に万全を期すため、津波により全ての交流電源を喪失した場合のバックアップ電源の確保や、原子炉や使用済燃料プールの注水機能や除熱機能の確保に必要な対策について、本日とりまとめましたのでお知らせいたします。(詳細は別紙参照)

なお、当社は、本日、経済産業省より、「平成 23 年福島第一・福島第二原子力発電所事故を踏まえた他の発電所の緊急安全対策の実施について」の指示文書を受領いたしました。

当所において取りまとめた対策に加えて、今回の指示文書の内容を精査し、改めて必要な安全対策を検討し、とりまとめて同院へ報告いたします。

また、今後、福島第一原子力発電所の事故の全体像を分析・評価し、改めて抜本的な対策について検討を行い、発電所の更なる安全性の向上を図ってまいります。

以 上

[添付資料 1：柏崎刈羽原子力発電所における津波の想定と現状](#)

[添付資料 2：柏崎刈羽原子力発電所における津波に対する信頼性向上の取り組み](#)

[別紙 1：重要な機器が設置されている建屋の防水性の改善](#)

[別紙 2：全交流電源の喪失に備えたバックアップ電源の確保](#)

[別紙 3：原子炉や使用済燃料プールの注水機能や除熱機能の確保](#)

[別紙 4：原子炉格納容器の減圧機能の確保](#)